

# 倫理問題に関する調査報告書

倫理問題に関する調査会

会長 棚本 邦由

## 1 調査概要

### (1) 調査目的

平成25年12月に森屋議員の妻が県議会議員21名に対して、お歳暮として贈答用の牛肉を贈ったとされる新聞報道があったことから、議長として、速やかに私的な調査会を立ち上げ、事実関係の確認を行うとともに、県議会議員全員が襟を正す機会となるよう、全議員を対象として調査を行った。

(2) 調査会構成員 …… 会長(議長) 副会長(副議長) 委員4名(各常任委員長)

(3) 調査対象 …… 議長を含む全議員(37名)

(4) 調査方法 …… 調査会委員による個別聴き取り(非公開)

(5) 調査期間 …… 平成26年1月中(14日~31日)に実施

## 2 調査結果

調査に応諾した議員 37人

その内、品物が送られてきた議員 21人

## 3 調査結果の公表の考え方

調査結果の公表については、調査会において、氏名も含め、公表の範囲等について慎重に検討を行った。

その結果、調査会は、1月14日から調査を開始したが、同月21日には甲府地検と山梨県警が告発状を受理し、その後、山梨県警の正式な捜査が始まったと新聞に報道されるなど、捜査当局による捜査が現在進められていると推測される状況においては、県議会として、調査結果を公表するに当たり、当局による捜査に支障を来すことがないよう配慮をするべきであり、公表については必要最小限に止めることとしたものである。

#### 4 まとめ

今回の件について、調査会による聴き取り調査により、議長としては、概ね全体像を把握し、事実関係の確認を行うことができた。

また、調査は、議長を始め、全議員を対象として実施したが、このことは、議員にとって、日頃から意識せずに行っている慣例的な行為について、「法令遵守」や「倫理」という観点から、今一度見直しを行う機会となるとともに、県民から負託を受けた議員として、議会に対する県民の信頼を損ねることがないように、常に法令を遵守し、高い倫理観を持たなければならないことについて、改めて自覚し直す機会ともなり、今回の調査の所期の目的は達することができたものとする。

今回の件を戒めとして、従来にも増して、議員一人一人が常に法令を遵守し、公正・清廉を基本とする高い倫理観を持って、より一層県民のために議員活動に励まなければならないと考える。